

## 原著 (邦文)

### ●平成24年度 (2012.4~2013.3) ●

●1.低フォスファターゼ症の一部は低身長を契機に診断される

河野智敬※, 会津克哉※, 高橋康男※, 立川加奈子※, 道上敏美※, 大藺恵一, 望月 弘※  
ホルモンと臨床, 59 (3), 69-73, 2011.

●2.日本の小児科学研究の現況

吉川徳茂※, 遠藤文夫※, 香美祥二※, 加藤光広※, 小崎健次郎※, 白石 公※, 高木正稔※, 中村秀文※, 野口篤子※, 森 臨太郎※, 高橋孝雄※, 井田博幸※, 大藺恵一, 小島勢二※, 五十嵐 隆※  
日本小児科学会雑誌, 116 (12), 1973-1975, 2012.

●3.Frontal Horn Cystsの1例

三宅 進※, 宮村能子  
岡山医学会雑誌, 124 (3), 239-241, 2012.

●4.血清抗ミュラー管ホルモン (AMH) 測定は小児の性腺機能評価に有用である

三善陽子, 難波範行, 橘 真紀子, 宮下恵美子, 橋井佳子, 太田秀明※, 大藺恵一  
ホルモンと臨床, 59 (12), 2011.

●5.幼児期発症の難治な多発性硬化症に対しcyclophosphamideパルス療法が有効であった1例

池田 妙※, 下野九理子, 岩谷祥子, 北井征宏※, 橘 雅弥, 富永康仁, 沖永剛志, 永井利三郎, 大藺恵一  
脳と発達, 45 (1) : 49-52, 2013.

●6.Band Heterotopia 2例におけるLevetiracetam使用前後の脳波解析

青木保典※, 石井良平※, Pascual-Marqui Roberto D※, 栗本 龍※, 池田俊一郎※, 畑 真弘※, 下野九理子, 岩瀬真生※, 武田雅俊※  
大阪てんかん研究会雑誌, 23 (1) : 15-24, 2012.

●7.精神科訪問看護指導におけるペアレントトレーニングの影響に関する事例検討 注意欠陥/多動性障害 (AD/HD) の子どもをもつ母親への支援

奥野裕子※, 荒木田美香子※, 永井利三郎, 奥野正景※  
発達障害研究, 34 (2) : 179-194, 2012.

●8.広汎性発達障害に対するペアレントトレーニング (少人数・短縮型) の有効性に関する研究

奥野裕子※, 永井利三郎, 毛利育子, 吉崎亜里香※, 山本知加※, 酒井佐枝子※, 岩坂英巳※, 谷池雅子  
脳と発達, 45 (1) : 26-32, 2013.

●9.日本の幼児の睡眠習慣と睡眠に影響を及ぼす要因について

三星喬史※, 加藤久美※, 清水佐知子※, 松本小百合※, 鷹野雪保※, 井上悦子※, 毛利育子, 下野九理子, 大野ゆう子※, 谷池雅子  
小児保健研究, 71 (6) : 808-816, 2012.